

埼玉県医療人材課宛てにファックスまたはインターネット上のアンケートフォームでお送りください。
〔FAX:048-830-4802〕(ファックスの送付文は不要です)

計 8 枚

令和2年度 埼玉県訪問看護ステーションに関するアンケート調査票

1. 基礎データ

(1)事業所(訪問看護ステーション)名		(2)所在市町村名	
(3)記載者名		(4)電話番号	
(5)メールアドレス			
(6)開設主体 ※該当する番号1つに○	① 医師会・看護協会 ② 医療法人 ③ 社会福祉法人(社協含む) ④ 社団・財団(①を除く) ⑤ 営利法人(株式会社・有限会社・合同会社) ⑥ NPO法人 ⑦ 生活協同組合 ⑧ その他()		
精神科訪問看護特化型の該当 (精神科訪問看護特化型に 該当する場合は○を記入)			
土日祝日営業の有無 (土日祝日に営業している 場合は○を記入)	(土日祝日営業している場合、該当する番号に○をつけてください) ① 土曜のみ営業 ② 日曜のみ営業 ③ 土日祝日すべて営業 ④ その他()		

2. 職員の配置等について

問1. 貴事業所における看護師等の配置状況について、常勤職員・非常勤職員別に教えてください。

【2次医療圏別、収支状況別クロス集計】 (令和2年4月1日現在)

職種	常勤職員の 実人数 A	非常勤職員の 実人数 B	実人数合計人数 (C = A + B)	常勤換算数 (常勤及び非常勤)
看護師・保健師・助産師	人	人	人	人
准看護師	人	人	人	人
理学療法士(PT)	人	人	人	人
作業療法士(OT)	人	人	人	人
言語聴覚士(ST)	人	人	人	人
事務職員	人	人	人	人
その他	人	人	人	人
合計	人	人	人	人

問2. 現状において、貴事業所では看護職員(保健師・助産師・看護師・准看護師)が確保(充足)できていますか。
(該当する番号1つに○)

【2次医療圏別クロス集計】

① 確保できている(充足している) ② 確保できていない(不足している) ↓ 不足人数 常勤()人 非常勤()人

《問2で「②確保できていない(不足している)」と回答された方のみお答えください》

問3. 確保できていない場合、どのような問題があるかお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

① 訪問を断っている。 ② 研修への参加等が出来ないため、訪問看護の質を高めることが難しい。

- ③ 患者ケアに関する問題点を話し合う時間が取れず、訪問看護サービスの低下につながっている。
- ④ 1人1人の職員にかかる負担が大きく、残業過多、休暇の未取得につながっている。
- ⑤ 管理者自らが訪問しなければならないなど負担が大きい。
- ⑥ 機能強化、大規模化したいが、人手不足で対応できない。
- ⑦ スタッフ間のコミュニケーションの不足やモチベーションの低下につながっている。
- ⑧ その他()

問4. 現在の求人等の状況について教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

- ① 募集をしているが応募がない
- ② 応募はあるが求める人材が集まらない
- ③ 経営的に新たに人を採用する余裕がない
- ④ 人材紹介会社を利用したいが紹介手数料が払えない
- ⑤ 採用したが、すぐに辞めてしまった
- ⑥ その他()

問5. 平成31年4月1日～令和2年3月31日の間において、看護職員を採用しましたか。

【2次医療圏別クロス集計】 (該当する番号1つに○)

- ① 採用した
 - ② 募集をしたが採用できなかった
 - ③ 募集しておらず採用していない
- ↳ _____人 採用した

《問5で「①採用した」と回答された方のみお答えください》

問6. 採用につながった方法・媒体について教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

- ① ハローワーク
- ② ナースセンター
- ③ 求人広告
- ④ 有料人材紹介
- ⑤ ステーション体験実習(ステーション協会委託事業)
- ⑥ 看護学生の実習受入
- ⑦ 管理者や職員の知り合い(人脈活用)
- ⑧ その他()

問7. 新卒訪問看護師の育成体制について教えてください。

【2次医療圏別クロス集計】 (該当する番号1つに○)

- ① 育成する体制がある
- ② 育成する体制がない
- ③ その他()

問8. 退職者(看護職員)について教えてください。

※令和元年度中(4/1～3/31)の退職者(常勤・非常勤)

職種	退職者数
看護師・保健師・助産師	人
准看護師	人

3. 訪問看護サービスの提供状況について

問9. 令和2年3月中(3/1～3/31)の利用者数を教えてください。

(注)介護保険及び医療保険双方から訪問看護を提供している場合は、両方でカウントしてください。

【2次医療圏別、収支状況別クロス集計】

総利用者 (A+B+C)	介護保険		C 医療保険
	A (要介護1～5)	B 介護予防(要支援1、2)	
人	人	人	人

問10. 令和2年3月中(3/1～3/31)の訪問回数を教えてください。

(注)1日に複数回訪問している場合は、訪問している回数分計上してください。

【2次医療圏別、収支状況別クロス集計】

	延べ訪問回数 (A+B+C)	介護保険		C 医療保険
		A (要介護1～5)	B 介護予防(要支援1、2)	
看護職員	回	回	回	回
理学療法士等 (PT・OT・ST)	回	回	回	回
ステーション 延べ訪問回数合計	回			

問11. 介護保険及び医療保険の加算の届出状況と令和2年3月中(3/1～3/31)の請求実績を教えてください。

【2次医療圏別クロス集計】

【介護保険】	届出している場合は(○)	利用実人数 (同意している件数)	訪問回数	1年間(H30.4.1～ H31.3.31)のターミナル ケア加算の算定件 数を教えてください	直近1年間(H31.4.1～ R2.3.31)のターミナル ケア加算の算定件数 を教えてください
緊急時訪問看護加算		件	回		
ターミナルケア加算		(算定した件数) 件		件/年	件/年

【医療保険】	届出している場合は(○)	利用実人数 (同意している件数)	訪問回数	1年間(H30.4.1～ H31.3.31)のターミナル ケア加算の算定件 数を教えてください	直近1年間(H31.4.1～ R2.3.31)のターミナル ケア加算の算定件数 を教えてください
24時間対応体制加算		件	回		
訪問看護ターミナルケア療養費		(算定した件数) 件		件/年	件/年

問12. 医療機関との連携実績(退院時共同指導加算の実績)について教えてください。

【2次医療圏別クロス集計】

	1年間の算定件数(H30.4.1～H31.3.31)	直近1年間の算定件数(H31.4.1～R2.3.31)
退院時共同指導加算	件/年	件/年

問13. 24時間対応状況について教えてください。

【2次医療圏別クロス集計】

(↓該当する番号1つに○の上、右欄にお答えください)

① 対応している 【電話及び必要に応じて訪問】 (「24時間対応体制加算」 「緊急時訪問看護加算」を 届出している)	
--	--

② 対応していない	②24時間対応をしていない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○) ア. スタッフが少なく、対応できない イ. 人数的に対応可能だが、スタッフの負担を考慮し対応していない ウ. 24時間対応を必要とする利用者がいない エ. その他()
③ 対応しているが「24時間 対応体制加算」等算定していない	

問14. 医療的管理の対応状況について教えてください。(「No.1～No.18」1行ずつ、該当する項目に○)

【2次医療圏別クロス集計】

No.	項目	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない
1	経管栄養法(胃ろう、経鼻等)			
2	中心静脈栄養法(IVH)			
3	点滴・静脈注射			
4	膀胱留置カテーテル・自己導尿			
5	腎ろう・膀胱ろう			
6	褥瘡			
7	人工肛門			
8	人工呼吸器・持続陽圧呼吸			
9	在宅酸素療法(HOT)			
10	気管カニューレ			
11	吸引			
12	在宅自己腹膜灌流(CAPD)			
13	麻薬を用いた疼痛管理			
14	終末期ケア			
15	ドレーン管理			
16	輸液・シリンジポンプ管理			
17	抗がん剤使用患者の管理			
18	インスリン注射			

問15. 重症度が高い患者の受け入れ状況について教えてください。

※令和2年3月中(3/1～3/31)の利用者数

【2次医療圏別クロス集計】

No.	利用者	利用者数
1	特掲診療科等の施設基準別表7の利用者	人
2	特掲診療科等の施設基準別表8の利用者	人

問16. 小児疾患患者(超重症児、準超重症児に限らない)の受け入れ状況を教えてください。(該当する番号1つに○)

※令和2年3月中(3/1～3/31)の利用者数、訪問回数

【2次医療圏別クロス集計】

① 対応している	①-1	(超重症児)利用者数	人
		(準超重症児)利用者数	人
		(その他)利用者数	人
	①-2	訪問回数	回

② 対応していない	②対応していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○) ア. スタッフが少なく、対応できない イ. 人数的に対応可能だが、経験や技術が不足している ウ. 経営判断により対応していない エ. 対応できるが、紹介がない。 オ. その他()
-----------	---

※「①対応している」の場合は、以下「イ」～「チ」で小児疾患患者に対応するうえでの課題に○をつけてください。
(該当する項目すべてに○)

イ. 小児訪問看護は難病等の特殊性・個別性が高いため、医療的ケアに不安がある。 ロ. 病状だけではなく、成長に合わせたケアを行うことが難しい。 ハ. 小児在宅医療に関わる職種(医療、福祉、教育)が多く、連携を取るのが難しい。 ニ. 小児の地域支援についての制度や法律が複雑である。 ホ. 親との関わり方が難しい。 ヘ. 地域で訪問診療を行っている医療機関が少ない。 ト. レスパイト先の確保が難しい。 チ. その他()

問17. 精神疾患患者の受け入れ状況を教えてください。

※令和2年3月中(3/1～3/31)の利用者数、訪問回数

【2次医療圏別クロス集計】

① 対応している	①-1 利用者数 人 ①-2 訪問回数 回
② 対応していない	②対応していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○) ア. スタッフが少なく、対応できない イ. 人数的に対応可能だが、経験や技術が不足している ウ. 経営判断により対応していない エ. 受け入れ態勢は整っているが、紹介がない。 オ. その他()

※「①対応している」の場合は、以下「イ」～「チ」で精神疾患患者に対応するうえでの課題に○をつけてください。
(該当する項目すべてに○)

イ. 精神症状悪化時の対応が難しい(危険を伴う等) ロ. 身体管理が難しく、効果が見えにくい。 ハ. コミュニケーション・信頼関係構築が難しい。 ニ. 単独訪問が不安であるが、複数名で訪問を行う人的余裕がない。 ホ. 拒否・キャンセル、頻回・長時間の訪問や電話対応等により採算が合わない。 ヘ. 専門医や主治医、行政機関との連携が難しい。 ト. 患者の家族から協力を得ることが難しい。 チ. その他()

4. 経営状況等について

問18. 現在の事業所の利用者受け入れ状況について教えてください。(該当する番号1つに○)

【2次医療圏別、収支状況別クロス集計】

① 依頼数が多く、訪問依頼を断っている ② 依頼数が多く業務過剰傾向だが、訪問依頼は断っていない ③ 依頼数は受け入れ可能数に比べちょうどよい ④ 依頼数は受け入れ可能数に比べて少ない ⑤ その他()

問19. 直近1年間(令和元年4月1日～令和2年3月31日)において、サービス提供を断ったことがありますか。

【2次医療圏別、収支状況別クロス集計】

(該当する番号1つに○)

① 断ったことがある	② 断ったことはない
------------	------------

※「①断ったことがある」場合は、その理由を教えてください。(該当する項目すべてに○)

- ア. 職員不足により、対応できなかった
- イ. 移動距離が長かったため
- ウ. サービス(医療処理等)内容が対応困難だったため
- エ. その他()

問20. 直近の事業年度末決算(令和元年4月1日～令和2年3月31日)における収支状況※について教えてください。

※ 法人本体等からの運営費交付金等を除いた、訪問看護ステーション単体の収支

【2次医療圏別クロス集計】

(該当する番号1つに○)

① 黒字	② 赤字	③ 不明	④ その他()
------	------	------	----------

《問20で「②赤字」と回答された方のみお答えください》

問21. 赤字の理由について教えてください。

(該当する項目すべてに○)

イ. 職員数に比べて利用者数(訪問回数)が少ない。

【利用者数(訪問回数)が少ない理由】(あてはまる番号すべてに○)

- ① 移動距離が長いため。
- ② 地域内にステーション数が多いため。
- ③ その他

ロ. 不採算な事業の実施(事業の内容:)

ハ. 利用者数が少なく、安定的な収入が見込めない。

ニ. 開業して間もないため。

ホ. その他()

《問20で「②赤字」と回答された方のみお答えください》

問22. 赤字の補てん方法について教えてください。

(該当する項目すべてに○)

イ. 法人本体や別会計等から補てんしている。

ロ. 特に補てんしていない。

ハ. その他()

問23. 貴事業所における機能強化型訪問看護管理療養費の算定状況について教えてください。

(該当する番号1つに○)

【2次医療圏別クロス集計】

① 現在算定している	② 要件は整っており届出する予定
③ 要件が整えば算定したい	④ 算定する予定ない

※「③要件が整えば算定したい」の場合は、以下「イ」～「ト」で満たしていない要件に○をつけてください

- イ. 「常勤看護職員5人(7人)以上」
- ロ. 「24時間対応体制加算の届出」
- ハ. 「直近1年間のターミナルケア件数又は超重症児・準重症児の受入実績」

- ニ. 「特掲診療料等の施設基準等の別表第7の利用者が月に7人(10人)以上」
- ホ. 「居宅介護支援事業所または相談支援事業所が同一敷地内に設置されていること」
- ヘ. 「休日、祝日も含め計画的な指定訪問看護を行うこと」
- ト. 「地域住民等に対する情報提供や相談、人材育成のための研修の実施」

問24. 貴事業所の経営上の課題について教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

- ① 看護職員の不足
- ② 看護職員の質の向上(さらなるレベルアップ)
- ③ 後継者(将来の管理者)の育成
- ④ 利用者の確保
- ⑤ 利用者満足度の向上
- ⑥ 大規模化(事業拡大)
- ⑦ その他()

5. 訪問看護全般について

問25. 埼玉県の委託事業である「訪問看護相談窓口」「管理者相談窓口」

「経営コンサルタントによる個別相談会」についてご存知ですか。

(あてはまる番号1つに○)

- ① 既に活用している
- ② 知っているが、まだ活用したことはない
- ③ 知らない
- ④ その他()

≪問25で「①既に活用している」と回答された方のみお答えください≫

問26. 上記事業を活用してどのような効果があったか教えてください。

(あてはまる番号すべてに○)

- ① 事業所を大規模化することが出来た
- ② 赤字から黒字に転換することが出来た
- ③ 収支状況を改善することが出来た
- ④ 新たな加算等を算定することが出来た
- ⑤ 請求漏れや請求間違いを防ぐことが出来た
- ⑥ 専門家に依頼する負担の軽減や時間節減につながった
- ⑦ 労務管理やリスクマネジメントを適正に実施することが出来た
- ⑧ 働き方改革につながった
- ⑨ その他()
- ⑩ 特に効果はない

問27. 県委託事業「教育ステーション事業」を活用したことがある場合、どのような効果があったか教えてください。

(活用したことがある場合のみ回答。あてはまる番号すべてに○)

- ① 看取りに対応できるようになった、看取り件数が増加した
- ② 小児疾患患者に対応できるようになった、対応件数が増加した
- ③ 重症度が高い患者(特掲診療科等の施設基準別表7・8の利用者)に対応できるようになった、対応件数が増加した
- ④ 新たな医療的管理に対応できるようになった
- ⑤ 看護技術(フィジカルアセスメント等)が向上した
- ⑥ 利用者の獲得増につながった
- ⑦ 病院との連携が進んだ

- ⑧ コミュニケーションスキルが向上した
- ⑨ 教育STや地域のSTとのつながりができ、相談や連携がしやすくなった
- ⑩ その他()
- ⑪ 特に効果はない

問28. 県委託事業「訪問看護体験実習」を活用したことがある場合、どのような効果があったか教えてください。

(活用したことがある場合のみ回答。あてはまる番号すべてに○)

- ① 体験実習を行った看護職員を採用することができた()人
- ② 病院との連携が進んだ
- ③ 利用者の増加につながった
- ④ ステーションのPRにつながった
- ⑤ 職員の質の向上につながった
- ⑥ その他()
- ⑦ 特に効果はない

問29. 訪問看護に関する県の取組として、「実施してほしい」事業を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

- ① 新人訪問看護師の育成体制を強化する事業(職場定着、資質向上)
- ② 訪問看護師の育成を支援する事業(ニーズの高いテーマの研修開催、OJT支援等)
- ③ 訪問看護サービスや訪問看護師の仕事に関する広報活動(体験実習、ガイド作成等)
- ④ 請求事務(診療報酬・介護報酬)をバックアップする事業(研修、相談窓口等)
- ⑤ 大規模化等訪問看護ステーションの運営を支援する事業(運営に関するコンサルティング等)
- ⑥ 病院連携を促進する事業
- ⑦ 訪問看護に関する拠点の整備(総合相談、情報やノウハウ提供等)
- ⑧ その他 []

※「②訪問看護師の育成を支援する事業」の場合は、以下で実施してほしい研修等を教えてください

(該当する項目すべてに○)

- イ. ターミナルケアに関する研修
- ロ. 小児疾患に関する研修
- ハ. 難病に関する研修
- ニ. 精神疾患に関する研修
- ホ. 認知症に関する研修
- ヘ. 多職種連携に関する研修
- ト. 退院調整に関する研修
- チ. OJT支援
- リ. その他 []

問30. 訪問看護サービスの安定的な提供について、ご意見やご要望があればお聞かせください。(自由記述)

～ ご協力ありがとうございました ～

